

活動指針：異体同心

2022年4月27日~28日
東日本大震災 支援活動報告

2022年5月13日

活動指針：異体同心

東北支援

参加者

中浦正浩
石原美穂
井籠清二
楠亮太

※敬称略



活動指針：異体同心

東北支援

スケジュール

① チームわたほい(遠藤様)訪問



② 門脇小学校



③ 日和山



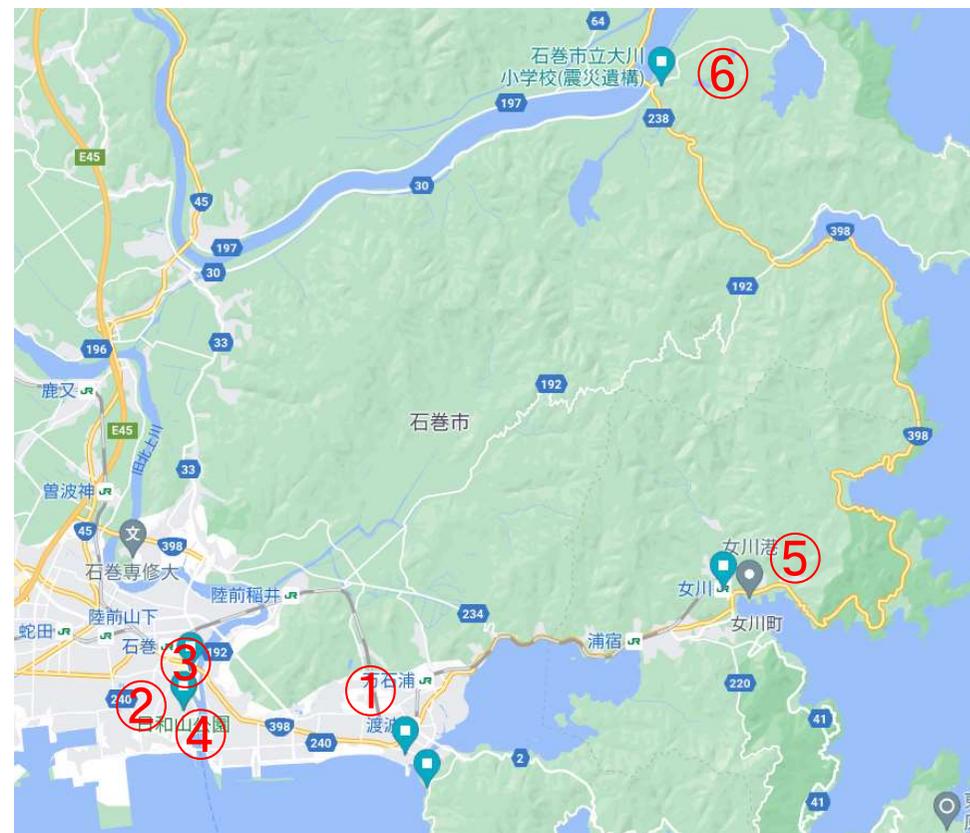
④ みやぎ東日本大震災伝承館



⑤ 女川駅



⑥ 旧大川小学校



活動指針：異体同心

東北支援

チームわたほい(遠藤様)訪問

避難所での写真（即席のお風呂や
トイレ）を見せていただいた



最近の子供たちの中に
「がれきって何？」
という子供がいる

活動指針：異体同心

東北支援

門脇小学校

震災前



震災後



校舎の中



津波を受けた消防車

活動指針：異体同心

東北支援

日和山



この山があったことで
多くの人達が助かった



活動指針：異体同心

東北支援

みやぎ東日本大震災伝承館



活動指針：異体同心

東北支援

女川駅



津波で横倒しになった旧女川交番

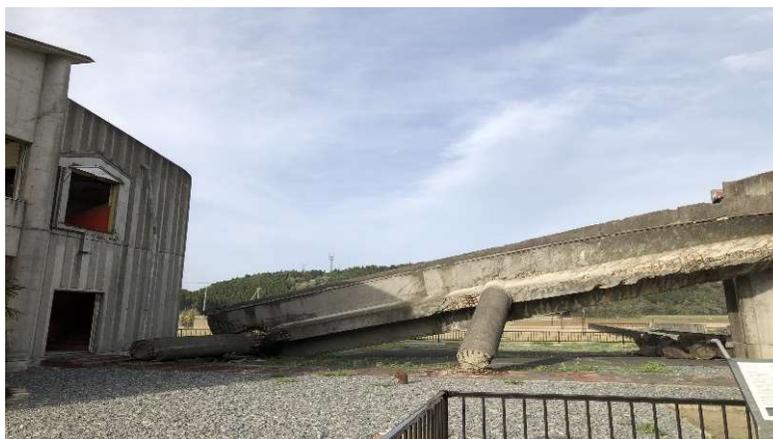
活動指針：異体同心

東北支援

旧大川小学校

ここで多くの児童が犠牲になったことを考えると....

崩れた渡り廊下



底抜けた床



むき出しの鉄筋

活動指針：異体同心

東北支援

楠 所感

・遠藤さんの話や避難所での写真を見て自分が同様の立場だったらと思うと、胸が苦しくなりました。

→常日頃から「自分ができることは何か」と問いかけ、助け合いをする心を持って行動していかなければならないと身に沁みました。

・新しい建物が多く建てられていたり、「がれきって何？」という子供がいたりしたことが衝撃でした。

→震災の記憶がだんだんと薄れてしまっていることを感じました。

今後、薄れていかないようにこれからの子供に大震災から得られた実情と教訓を伝承していかなければならない。

そして東北支援というこの活動をこれからも続けていかなければならないと強く思いました。

活動指針：異体同心

東北支援

井篁 所感

街は整備され、とても綺麗になっていました。

この地で津波による大災害があったことを感じることは、もうできなくなってきたというのが印象です。

ただ、街は綺麗に整備されようとしてましたが、何となく無機質な感じを受けました。活気が感じられなかったからかも知れません。

「なぜだろう？」と考えたところ、人が少なかったからのような気がします。被災後には避難をして帰ってきていない人が多くいることを伺いました。仕方のない事かも知れません。

でも、以前のように人が戻り活気溢れる街になるまでが、本当の復興なんだろうと思います。

そのために、継続した支援が必要だと感じました。

活動指針：異体同心

End of document